

平成28年5月27日

学校法人 溝部学園財務の現状について

平成27年度の学園の収支は、事業活動収入で1,388,350千円（前年比82,171千円減少）事業活動支出は1,250,040千円（前年比76,430千円増加）となり、事業活動収支差額は138,310千円（同比率9.96%）となりました。

平成27年度より学校法人会計基準の改正により計算書類の項目の変更があり、新基準に沿って表示しています。

主な項目の変更

帰属収入⇒事業活動収入 消費支出⇒事業活動支出 帰属収支差額⇒事業活動収支差額

1. 「収支目標」について

事業活動収支差額（帰属収支差額）については毎年黒字を維持し、同比率については、例年最低5%以上を目指しています。なお、平成27年度補正予算の同比率は、6.9%としていました。

2. 「平成27年度の収支状況」について

（平成27年度決算）

事業活動収入	1,388,350千円
事業活動支出	1,250,040千円
差 額	138,310千円（比率9.97%）

*今年度は、短大、歯科、高校、幼稚園、保育園の5部門で黒字決算となりました。

（収容定員充足率）

法人全体 86.24%
短期大学 72.39%

3. 「平成28年度補正予算」について

（平成28年度補正予算）

経常収入	1,368,998千円
経常支出	1,314,611千円
差 額	54,845千円（比率4.01%）

(収容定員充足率)

法人全体 90.4%

短期大学 77.6%

*収入面については、短大、歯科、高校、幼稚園の収容人員を前年対比で、それぞれ24名増、2名減、45名増、4名減と見込んで算出している。

*一方支出面は、耐震診断費用、耐震補強工事費用等を盛り込んだ結果、経常収支差額比率は4.0%を見込んでいます。

4. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

平成27年度の経営状態の区分については、以下の判定結果よりA3ランクの「正常状態」の区分となりました。

- ① 教育活動資金収支差額が、3か年のうち2か年以上連続黒字の状態である。
- ② 外部負債は約定年数または10年以内に返済できる。
- ③ 修正前受金保有率の100%以上である。
- ④ 経常収支差額については、3か年のうち2か年以上黒字となっている。
- ⑤ 黒字幅が10%未満である。-----ここが10%以上であればA2ランクとなる。

以上6項目の指標における判定結果がA3ランクとなり、14ランク中3番目に位置し、「正常状態」にあたる区分となっています。

○定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体) 平成27年度～

